

神奈川県体操競技選手権大会 兼 国民体育大会神奈川県予選会
確認事項

H27.4.1

神奈川県体操協会

(1) 登録について

参加者は、必ず（公財）日本体操協会及び、神奈川県体操協会に登録をする。

(2) 申込について

県体操協会選手権大会兼国体県予選会事務担当に申し込み締め切り期日（厳守）までに申し込みを行う。

(3) 引率者並びに監督、コーチについて

(A) 成人（参加制限／フリー）

- ① 大学等、企業等に所属する選手は、所属する責任者（所属長及び監督等）に出場の承認を必ず得ること。
- ② 申込書に記載した責任者（所属長及び監督等）が大会会場に来場しなくても良い。その場合には、引率者・監督を選手が兼ねることとする。
- ③ コーチについては、特に制約を設けないが、傷害・賠償責任保険に必ず加入していることとする。

(B) 高校生（参加制限／あり）

- ① 引率者・監督・コーチは学校ごとに重複することなく申込みを行うこと。
注意1 ⇒ 引率者・監督（同一可）は必ず申込書に記載する。コーチは必要に応じて記載すること。
注意2 → 同一校から2チームが参加する場合には、1所属とみなす。
- ② 引率者は校長の認める当該校の職員とする。引率者は選手すべての行動に対し、責任を負うものとする。
- ③ 監督、コーチは校長が認める指導者とし、外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険に必ず加入すること。
- ④ 引率者・監督は大会の始めから終わりまで会場にとどまること。
- ⑤ 競技・練習中ともにフロアに降りられる者は、団体の場合、2名（内1名は監督、もう1名はコーチあるいは、補欠選手とする）。尚、女子団体の場合も性別は問わない。
個人の場合には1名とし、監督またはコーチとする。

(C) 中学生（3年生で県選手権大会の成績により選抜）

- ① 申込み所属団体が中学選手権大会に出場した所属団体と異なっても可とするが、日頃練習している団体であること。
- ② 引率者・監督は所属ごとに重複することなく申込みを行うこと。
- ③ 引率者は参加選手の所属長が認めた成人であることとし、引率者は選手すべての行動に対し、責任を負うものとする。
- ④ 監督、コーチは所属長が認めた指導者とし、傷害・賠償責任保険に必ず加入すること。
- ⑤ 引率者・監督は大会の始めから終わりまで会場にとどまること。
- ⑥ 各班のチームリーダーは、プログラムの一番上に記載された選手の監督またはコーチがあたる。
ただし、関係監督者相互の協議により、そのうちの1名があたっても良いこととする。
- ⑦ コーチは所属をまたがっても可とし、競技中も競技フロアに降りて選手の補助等を行っても良いこととする。

(4) 競技中の種目ごとの始まりと終わりの挨拶について

- ① 高校生・中学生は各種目のはじめの挨拶は、進行係の放送での指示で審判員の前に整列して行う。終了の挨拶は種目ごとに競技終了時に自席の前に整列し、器具に向かって行う。
- ② 一般成人は各種目の始めの挨拶のみ進行係の放送での指示で審判員の前に整列して行う。

(5) エバーマット・着地追加マット（ピタリマット）について

①エバーマットについて

原則使用禁止。但し、練習時の使用は認める。(演技前のアップ時は不可)

②着地追加マット

- ・女子はゆか以外の種目で必ず使用する。
- ・男子はつり輪、跳馬、鉄棒で必ず使用する。演技中の移動は不可。着地の目的に使用する。
鉄棒は2枚使用（2枚重ねは不可）

(6) 跳馬の跳躍版（ロイター板）について

- ①成人（一般）・高校生は、ばねの数が3・3・2と3・1・2の2枚を用意する。
- ②中学生は、バネの数が2・1・2を認める。使用後は3・1・2に戻すこと。

(7) 補助者について

男子は、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒に補助者をつけることができる。
女子は、段違い平行棒に補助者をつけることができる。

(8) 競技開始前のアップ時間について

平行棒と段違い平行棒のアップ時間は1人50秒とする。アップ開始の計測は、前アップ者の終了と同時に
行う。

そのほかの種目のアップ時間は1人30秒とする。

女子跳馬は1人、2本とする。

(9) 成績順位及び表彰について

- ①同点の場合には、同順位として表彰する。ただし、国体選手のメンバーを決定する際は、(公財)日本体操協会の規則に準ずる。
- ②次の場合には成績順位及び表彰の対象としない。
 - ア) 個人総合では、選手が演技すべき種目の全部を演技しなかった場合。但し、0点は認める。
 - イ) 不慮の事故等で種目の棄権があった場合には、種目別選手権の表彰対象とする。

(10) 女子レオタードについて

- ①中学生・高校生はノースリーブを認めるが、極端に細い（5cm以下）肩ひもは不可。その他は(公財)日本体操協会が定める規則に準ずる。
- ②成人（一般は）は(公財)日本体操協会が定める規則に準ずる。

(11) 女子のゆか伴奏音楽について

デッキ等は各所属が用意すること。伴奏音楽はMD、CD、iPodなどを使用する。

(12) オーダー用紙について

団体、個人ともに各所属で準備する。

(13) 写真・ビデオ撮影について (別紙参照)

(14) 競技終了後の器具の片づけ、清掃について

競技に参加した選手、監督、コーチは必ず参加してください。

(15) 補助役員について

- ①男女各種目に2名の会場記録の補助役員が必要です。
- ②補助役員は、審判員の横の席に座り、得点計算、得点記録記載、得点掲示、得点配布(選手・本部記録)などを行います。
- ③各所属は補助役員選出に協力すること。

(16) チーム選手と補欠の交代について

チーム登録の選手が補欠と交代し個人出場するためには、以下の条件を満たしている事とする。

- ①個人出場有資格者であること。
- ②参加申し込み時にチーム出場手続きと合わせて、個人出場の手続きを済ませている事。
ただし、該当チームの補欠選手が個人出場有資格者で、個人出場の申し込みをしている場合はそのまま交代できる。

<具体例> 大文字A～F … 個人出場有資格者

ア) チーム; A B C D 補欠; E F (個人申し込みあり)

A～DはE、Fと交代し個人出場可。

イ) チーム; A B C D 補欠; e f

A～Dがe、fと交代した場合、個人出場はできない。

ウ) チーム選手が補欠と交代し、個人出場するための申し込み方法

チーム; A B e f 補欠; C D (個人申し込みあり)

A、BはC、Dと交代し個人出場可。

e、fがC、Dと交代した場合、代わりに個人出場することはできない。